

TOKIO MARINE TOPICS

ASEAN における通関手続き簡素化について

今回の topics は、ASEAN(東南アジア諸国連合)における通関手続き簡素化の現状をご紹介します。ASEAN では、加盟 10カ国の一体化によって成長促進を狙う ASEAN 経済共同体(AEC)が昨年末に発足し、域内のモノ・サービス・投資等の自由化が加速しています。各国の電子通関システムを統合する一元的なシステム(ASEAN シングルウインドウ)の構築も進み、現在 10カ国中 5カ国が本国システムと接続し試験運用段階に入っています。シングルウインドウ化による実際の効果について、2014年に新たな本国システムを稼働したベトナムを例に取り上げます。(編集協力:オーシャンコマース)

1 加盟各国の NSWM を統合、ASWM として一元化

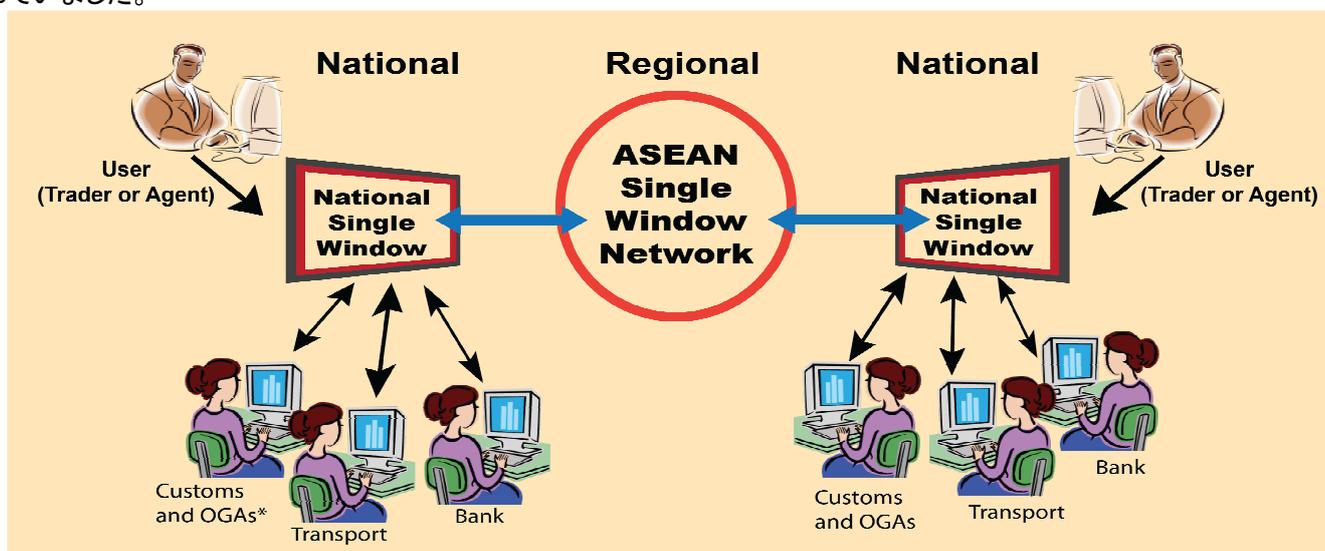
(1) 2015 年末、ASEAN 経済共同体(AEC)が発足

昨年 12 月 31 日、広域経済連携である ASEAN 経済共同体(AEC)が正式に発足、始動しました。ASEAN は、07年 1月の首脳会談で AEC 実現を 2015 年末と設定し、取り組みを加速してきました。AEC 実現には、政治、安保、社会文化、経済統合が先行しますが、その中でも経済分野の統合、つまり加盟国間の商品、サービス、資本、投資、熟練労働力などの自由な移動が可能となる単一経済圏の実現、の行方が世界的な関心を集めていました。

(2) 通関のシングルウインドウ化は AEC 実現のカギ

様々な通関手続きをワンストップで行えるようにし、モノの動きをスムーズにする一元的な電子通関システム(National Single Window)は、既に米国、欧州、日本、韓国、シンガポール、カナダ、豪州などを含む多くの国で導入され、業務処理の効率化でかなりの効果をあげています。

ASEAN シングルウインドウメカニズム(ASWM)は、ASEAN 加盟国のナショナルシングルウインドウメカニズム(NSWM)が互いに連携し運営する統合サービスシステムで、域内における輸出入業者、運輸業者、金融、政府機関の管理状況と関連情報の交換を容易にするものです。**この ASWM の整備は、AEC 実現における必須の課題**とされていました。



*Other Government Agencies

出典:ASEAN 事務局 ASEAN Single Window ウェブサイト

2 ASWM、5カ国で実質的な運用テストへ

現在、ASEAN 加盟 10カ国のうち、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ブルネイの 7カ国は既に NSWM を稼働しています。計画では、このうち **インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、ベトナムの 5カ国**は ASEAN 物品貿易協定(ATIGA)に基づく電子原産地証明書データのやりとりなどの技術的な連携の検証を昨年末までに終え、**ASWM と接続し実質的な運用テスト(12カ月間)を開始**する予定です。ブルネイとフィリピンも今年第 2 四半期までの ASWM 参加を表明しています。

NSWM 未整備のカンボジア、ラオス、ミャンマーのうち、ミャンマー政府は NSWM 構築を既に進めており、今年 4 月から運用テストを開始し、今年 11 月までに電子通関システムのフル稼働を目指しています。ちなみにミャンマーは、ベトナムに続き NSWM に日本の NACCS(輸出入・港湾関連情報処理システム)を採用し、開発を進めています。

3 実際の効率化とその効果 — ベトナムを例に

(1) 2014年に新電子通関、日本のNACCS採用

NSWMとASWMの導入により、実際の業務はどのように効率化するのか、一昨年NSWMを導入し、昨年9月からASWMとの接続も開始したベトナムを例に取り上げます。

ベトナムは、05年から稼働していた旧システムに代えて、日本のNACCSをNSWMに採用し、VNACCSの名称で構築を進めてきました。2014年4月にハノイ、ハイフォンで稼働した後、6月にホーチミンを含む全国に展開を拡大しました。

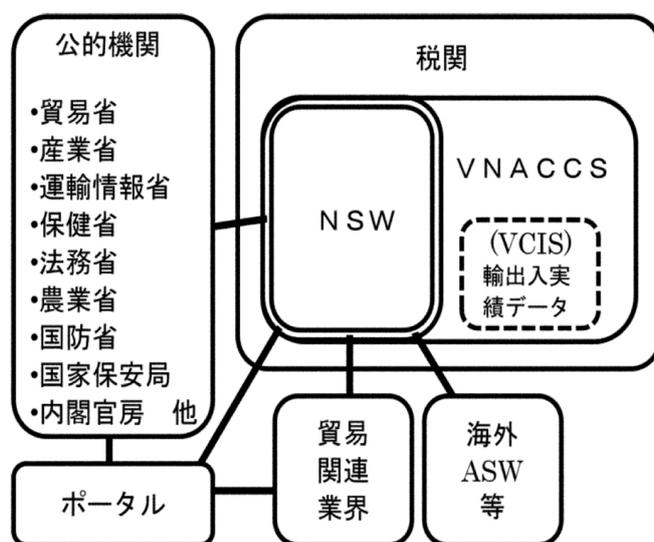
VNACCSでは、通関事務行政手続きの電子申告が可能で、関税の自動計算・自動納付、輸出入申告後の通関審査処理も自動化します。輸出入申告以外の官庁への申請手続きを一元化(シングルウインドウ化)し、さらに貨物管理機能として、税関管理区域内の貨物搬入から搬出までの状態を管理、リアルタイムでの照会も可能です。

(2) 情報共有で大幅な効率化

これまで、ベトナムに入出港または経由する船舶は、税関、出入国管理事務所、港湾事務所、保険・衛生当局、動植物検疫局の5機関に申請書を提出する必要がありました。

今後は、NSWMのポータルサイト上でひとまとめに書類を申請すれば関係機関で情報が共有されたのち、審査結果が企業に通知されることとなります。企業は、書類の準備と申請のためにいくつかの機関を回らなければならない時間と費用を節減でき、国際港での物流停滞が大きく改善することが期待されています。

さらに、ASWMが稼働すれば、ASEAN域内で関連情報が共有、連携されるため、国内外の企業の業務処理速度が速くなるのはもちろん、これまでは2-3カ月かかることもあったASEAN域内の原産地証明書(C/O)の真偽確認などもすぐにできるようになり、国家機関の業務効率も大幅に向上するとみられています。



ベトナムNSW “VNACCS”

出典:「アセアン・シングルウインドウ(ASW)構築計画に関する調査報告書」(日本貿易関係手続簡易化協会)

(3) 通関時間、輸出入とも7日以上短縮

NSWMとASWMの構築により、ベトナム政府は輸出入コストの20%減、通関時間の30%減を見込んでいます。NSWM稼働後の2015年初めの調査によると、通関所要時間は2014年の21日から輸出が14日に、輸入が13日に短縮しました。2016年にはASEAN4カ国の平均レベル(輸出:10日未満、輸入:12日未満)へとさらなる短縮を目指しています。

4 企業が効果を実感するまで時間は必要

NSWMとASWMの導入によってASEAN関連貿易の通関手続きは大幅に改善し、企業の利便性も高まる見通しです。ただし、企業がその効果を実感するには、システムが定着し安定運用されるまで、多少の時間が必要とみられています。

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」
http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html